

スキルアップ研修 「パーソンセンタードケアを学ぶ」

社会福祉法人 東京栄和会

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西 8-1-1

助成事業の概要

毎年、北欧視察研修の機会を得ており、研修先であるデンマークの学院講師によるレクチャーを受けています。視察研修に参加した職員は、海外の福祉に触れるだけでなく、ケアの考え方、専門職としての考え方などの学びとなっています。今回のように多くの職員が学院講師との接点を持つことで、今後も北欧視察研修の継続性につなげていけること、また職員のモチベーション向上や幅広い視点で介護を捉えていける人材教育にもつなげていきたいと考えております。今回のテーマである「パーソンセンタードケアを学ぶ」ことは、改めて自分たちの介護を見直し、より良い個別ケアを目指して学ぶことであり、介護職だけでなく、他の専門職にも波及効果が得られる機会となるべく取り組みました。

1. 日程 平成30年9月25日(火)、26日(水)
2日間実施（同内容）
2. 会場 なぎさ和楽苑内 1F 地域交流スペース
3. 講師 モモヨ・タチエダ・ヤーンセン氏
（ノーフェンスホイスコーレ教員）
4. 内容 「パーソンセンタードケアを学ぶ」

事業の成果

パーソンセンタードケアとは何か、という基本から始まり、その基本を形づくるものは、法人の理念であり指針であること。「どの方向に向かっていくのか」をグループワークを通じて議論し、専

門職としての共通言語、共通意識、共通目標そして価値観の共有などをテーマに考えました。日頃から法人理念を意識した研修はありますが、グループワークに多くの時間を費やす研修は少ない中で、改めて自分たちの専門性や法人の方向性を考え共通認識を持つ機会となりました。最後には「ユニット単位などで共通理念を持ってどのようにケアができるのか」という研修の宿題を出して頂きました。研修終了後より、各部署においてフィードバック研修を実施。当日研修に参加した部署以外でも録画データを見ながら研修を実施しました。特に、多くの職員が参加した特養では、各ユニットにてそれぞれの課題を整理し、パーソンセンタードケアに紐づけながら取り組みを実践。その一つに「スマイルブック」と題した、個に焦点をあてたケアの取り組みが生まれました。入居者の笑顔になる場面がどのようなところにあるのかを本人との関わりの中からいくつもピックアップして積み上げていき、本人像について共通認識を持ち、どのようなケアを進めていくのか共通理解を持って対応していくというものです。その「スマイルブック」の取り組みについては、平成30年度の法人創立記念行事の際に、実践報告として発表しました。まだ途中段階ではありますが、さらに取り組みを進め、平成31年度の外部開催における研究発表にもチャレンジする予定で取り組んでいます。また、今回の研修の準備は、これまでの海外研修参加者が中心に行い、北欧研修での学びを多くの職員に伝える機会にもなりました。平成31年度の北欧研修参加者には今回の取り組みが刺激となり、より研修への興味づけ

にもつながっています。パーソンセンタードケアをさらに理解を深め、より個別ケアに向けての取り組みに、それぞれの部署で実践を続けています。

■ 成果の広報、公表

事業成果でも報告しましたが、法人創立記念行事において、パーソンセンタードケア研修からの流れによる取り組み実践を、なぎさ和楽苑として発表しました。当日、基調講演をお願いした、白澤政和教授（大阪市立大学名誉教授、国際医療福祉大学大学院教授）に講評をいただき、特別養護老人ホームとしてのケアとして、いかに個別ニーズに添えていくか、さらなる個別ケアの取り組みが必要であることなど評価を頂きました。記念行事は関係者だけでなく、一般の方、ボランティアの参加もあり、今後のさらなる活動への期待の声も頂くことができました。

北欧研修やパーソンセンタードケアの研修については、11月11日、施設主催の「介護の日」イベントでも披露する機会となり、地域の方や入居者、そのご家族にもその取り組みを理解して頂き、広める機会となりました。介護の質を高めること、また入居者へのケアに反映すること、スタッフ教育の取り組みについて関心の高い声を頂いています。媒体としては、年3回発行の文集なぎさにも記事掲載をし、各施設のホームページにも紹介しました。こうした法人全体での取り組みは、これから介護の仕事を目指す学生にも興味づけとなり、就職活動中の学生からも関心を寄せてもらっています。

■ 今後の展開

今回、海外研修でお世話になった学院の教員に講師としてお招きしたことで、海外研修への関心をさらに寄せることができました。またこれまで

海外研修の参加者がその学びを現場に還元したい、という思いも叶えることが出来たように感じています。今回研修準備には海外研修参加者が携わりましたが、今後も年々メンバーが加わりながら、定期的な学習会を設けつつ、研修で得た熱い想いを持続しておく機会を作りたいと思います。また「スマイルブック」をより進化させ、より良いケアにつなげること、また自分たちの取り組みを地域や学術的にも発信できる力とその機会を得ていきたいと考えております。その取り組みは、各施設が同じトーンで邁進できるよう、法人全体の研修会などを活用し、パーソンセンタードケアをさらに学んで参ります。今回の講師であるモモヨ氏に、さらに深めたパーソンセンタードケアを学べる機会を作って頂けるよう、引き続きスキルアップに努めて参ります。